

# あやめ公園再整備構想図

## 公園全体

- ⑭高木や滝山の樹木を整理し、園路を増設。高い位置からの見晴らしを確保する。
- ⑮松の配置により和風庭園としての景観を確保する。
- ⑯北口をメインゲートとした園内の導線、ゾーニングの設定。
- ⑰園路及び施設等の出入りはバリアフリー化。全てにおいてユニバーサルデザイン。
- ⑱回廊や四阿などで日陰スペースを設ける。水飲み場で長井の水をアビールする。
- ⑲その年の見所や、園内情報が分かりやすい看板の設置
- ⑳あやめ公園を会場としたガーデニング講習会の開催。
- ㉑あやめまつり前、最中の市民参加型管理イベントの創設。
- ㉒開花状況の発信。様々な媒体の活用により誘客を図る
- ㉓あやめまつりの見直しやあやめ時期以外のイベント会場としての活用により、賑わいを生む

## 芝生広場

- ②多目的広場を整備。(芝生広場等)

## 長井古種

- ⑦長井古種の歴史を伝える看板の設置
- ⑧古種紹介ゾーンを設ける。

## あやめ会館

- ⑤あやめ情報を学べるパネル展示コーナー等の設置
- ⑦2階バルコニーや屋上などを利用し、眺望を確保する。
- ⑨メインゲートとして総合案内機能を持たせ、券売、パンフ設置、周辺情報の紹介ができるようにする。
- ⑫まつり期間中のみやげ処は会館内に集約。さくらんぼ等山形(長井)ならではのものをメインとする。

## 水路・親水スポット

- ⑪池の一部を水面まで入れる親水スポットにする。
- ⑫ボートも使用できる池。
- ⑬川床茶屋の設置。

## 明治神宮

- ⑨明治神宮から分与を受けた品種紹介

## 一面のあやめ

- ①一面のあやめ畑を整備し、写真スポットを考慮する。
- ②改良種は長井の風土に合うものを植栽する。
- ⑦写真スポットを考慮した圃場の再配置。おすすめビューポイントの表示

## フラワーガーデン

- ③ガーデニングの手法を取り入れた植栽箇所を設ける。
- ④通年利用を考えた花の植栽。

## 品種等比較ゾーン

- ⑥花菖蒲の種類比較がみられる圃場の配置。
- ⑩アヤメ科アヤメ属の比較ができる圃場の整備。

